

保護者の皆様  
地域の皆様

さいたま市立つばさ小学校  
学校運営協議会

## さいたま市立つばさ小学校コミュニティ・スクールにおける 【子どもたちに身に付けさせたい力】及び【学校・家庭・地域が取り組むこと】について (お知らせとお願い)

寒冷の候、保護者、地域の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。子どもたちの下校時の輝く姿を地域で見かけると、学校の1日の楽しさ・充実感が自然と伝わってまいります。

さて、昨年度、学校運営協議会で協議を重ねて決定した【付けたい力】につきまして、その実現に向けて、【学校・家庭・地域が取り組むこと】を下記のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

学校・家庭・地域が一体となり、共に、つばさ小学校の子どもたちをはぐくんでいく、【地域と共にある学校づくり】を一層推進してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 記

- |   |                   |   |
|---|-------------------|---|
| 1 | 【子どもたちに身に付けさせたい力】 | ・あかるく 【徳】<br>・つよく 【体】<br>・かしこく 【知】<br>・なかよく 【コミュニケーション】 |
|---|-------------------|---|

※ 「学校教育目標」が、「あかるく つよく かしこく なかよく」であり、この【ことば】を改めて、家庭や地域にもより深く浸透させていき、その実現を図る。

※ 子どもたちにも目指す姿を明確に持たせる。

## 2 子どもたちに身に付けさせたい力の実現のために、【学校・家庭・地域が取り組むこと】

### (1) 【あかるく (徳)】に向けて

～学校で取り組むこと～

- ・全教育活動を通して、自己肯定感を高め、個性と道徳性を涵養する。



～家庭で取り組むこと～

- ・子どものよさをほめ、行ってくれた事に「ありがとう。」「助かったよ。」と声掛けをしましょう。
- ・決して他の子やきょうだいと比べず、世界にひとつだけの花、その子らしさ、個性を大切にしましょう。
- ・「自分の親が、自分の事を受け止めてくれている」と子どもが感じることで、〈安心感の拠り所〉となるよう、子どもとの会話やスキンシップを大切にしましょう。
- ・周囲の子と“もめごと”が起きた時は、「子どもは、自分に都合の悪いことは言い出せないかもしれない」との思いもめぐらして、我が子だけの言い分だけを鵜呑みにすることなく、周囲の情報にも公平に耳を傾けて、子どもに“まっすぐな心”をはぐくんでまいります。
- ・人の痛みがわかる子に育ててほしいなどの親の願いを、子どもに語りましょう。

～地域で取り組むこと～

- ・地域で見られた子どものよい姿は、機を逸することなく、温かくほめる言葉をかけましょう。
- ・正さなければならぬ子どもの姿を地域で見かけたら、機を逃さず、教え諭しましょう。

※直接、声が掛けづらかった場合、〈地域で見かけた子どものよい姿・よくない姿〉を学校にお知らせください。学校で、子どもへの称賛や指導を行います。



(裏面に続きます)

(2) 【つよく (体)】に向けて

～学校で取り組むこと～

- ・全教育活動 手洗い・うがい・換気等の習慣、心と体の健康のための取組。

～家庭で取り組むこと～

- ・早寝・早起き・朝ごはん等の習慣をつけましょう。
- ・親子で運動に親しみましょう。

～地域で取り組むこと～

- ・土曜・放課後チャレンジスクール等での心と体の健康のための取組。



(3) 【かしこく (知)】に向けて

～学校で取り組むこと～

- ・全教育活動において、誰一人取り残さない教育を推進する。

～家庭で取り組むこと～

- ・読書に親しむよう親子で図書館に行きましょう。
- ・1日1回は、国語の教科書の子ども音読を聞きましょう。
- ・親も、本を読む姿を子どもに示しましょう。

～地域で取り組むこと～

- ・土曜・放課後チャレンジスクール、学校図書ボランティア等での読み聞かせ。



(4) 【なかよく (コミュニケーション)】に向けて

～学校で取り組むこと～

- ・全教育活動を通して、未発達の子どもの共同生活から生じるもめ事をよりよい成長の機会とする。
- ・あいさつは社会に出てからも基本。防犯ベスト着用し、いつも見守ってくださる地域の方に、目を見て、明るいあいさつができるよう、指導を重ねる。

～家庭で取り組むこと～

- ・あいさつは社会に出てからも基本。防犯ベスト着用し、いつも見守ってくださる地域の方に、子どもが目を見て、明るいあいさつができるよう、まず、親が手本を示し、「こんにちは！！いつも子どもがお世話になっています！ありがとうございます！」と地域で言葉を交わしましょう。
- ・発達途上の子どもたちが集団生活をすれば、けんかやもめごともあることでしょう。子どもは、やがて社会の荒波を自分で乗り越えていくことが必要です。だからこそ、やなことを乗り越えさせる経験を通し、たくましく育てていきましょう。
- ・子どもの前での激しい“夫婦けんか”はいけません。すなおに、「ごめんなさい」を言い合う姿を大人が見せて、子どもも「ごめんなさい」がすなおに言えるような子に育てましょう。
- ・地域の行事に親子で参加し、地域コミュニティのつながり・絆から、人と人との豊かなかわりのよさを子どもたちが感じられるようにしましょう。

～地域で取り組むこと～

- ・通勤、通学途上や、見守り活動で子どもにあいさつを交わしましょう。
- ・地域で互いに“あいさつ”を交わし、“安心できる街づくり”をしましょう。

